

探究の大泉 ～創造の泉～

課題を自ら発見し、様々な価値観との出会いを通して得た多角的な視点で、ものごとを見極め、解決に向けて協働し、社会に発信できる人材を育成する。

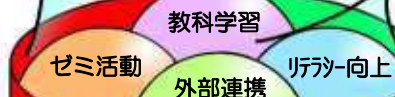
【創造力の実践的な発揮=新しい価値の創造】
・大学や大学院、社会での創造力の発揮

【多様な活動を主体的に活用する取り組み】
これまで蓄積した実践を主体的に活用する「アドバンスド・プログラム」

・社会問題や未知の課題を解決するための協働の経験

・英語による論文・プレゼン等のアウトプットと自己へのフィードバック

・自己の思考プロセスの鍛錬と論理的な提言の作成



【創造力の3観点に基づく育成プロセス】
・中学校を源泉とした、3つの観点に基づく「コア・プログラム」

創造力の三観点

思考力
判断力
表現力

学びに向かう
力と志

知識
技能

【源泉】

多様な生徒の経験を生かした探究の基盤
・附属中学校での「ベース・プログラム」の蓄積
・外部中学校での活動、学習体験の蓄積

○ 高等学校3年間の活動イメージ

多様な活動を通して、「創造力」を養います。

アドバンスド・プログラム

次なる探究へ

- ① 専門分野への足がかりをつくる
- ② これまでの実践の評価を受ける

3年

4月 個人活動（個人研究）
4月～ 全国コンクール・学会への参加
10月～ 大学の総合型選抜・学校推薦型選抜に挑戦
1月～ 大学入試に挑戦

コア・プログラムⅣ

学際分野研究

- ① 異分野と連携する
- ② これまでの実践を論文にまとめる

2年後期

10月 追加調査・観察実験
～論文作成
11月 探究修学旅行
12月 論文完成

コア・プログラムⅢ

分野横断研究

- ① 異分野と連携する
- ② 仮説検証型の課題追究を実践する

2年前期

4月 研究室訪問
5月 探究講座
5月～ ゼミ活動 情報収集・調査
7月 フィールドワークなど
10月 論文作成開始

コア・プログラムⅡ

分野連携研究

- ① 異分野との接続を意識する
- ② 課題設定の重要性を学ぶ

1年後期

10月 研究室訪問
11月 探究講座
11月～ ゼミ活動（共同研究）
2月 ゼミ内発表会
2月 学年発表会

コア・プログラムⅠ

分野別研究

- ① 自分の興味関心を見つける
- ② 探究のしかたを学ぶ

1年前期

5月 テーマ設定と問いづくり
5月 探究講座
6月～ ゼミ活動 フィールドワークなど
9月 ゼミ内発表会
9月 学年発表会

【コア・プログラムでの主な連携】

ティーチングアシスタントの在籍大学…東京大学、東京工業大学、東京農工大学、お茶の水女子大学、東京学芸大学、早稲田大学、明治薬科大学、国際基督教大学など。 一般社団法人、NPO、その他社会教育施設。

